



横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第10号 令和8年1月30日

ちょうせん こころ ちょうせん ささ がっこう
挑戦する心、挑戦を支える学校

こうちょう かじがや ともえ
校長 梶ヶ谷 朋恵

しんねん むか がっき がスタートしました。校内には力強い文字で個性豊かに書かれた書
初めが飾られ、新しい年の始まりを感じさせます。始業式では、午年にちなんでクイズと
共に、馬に象徴される、前に進む力、挑戦する力、希望へ向かうエネルギーをもって、
一年をスタートしましょうという話をしました。

挑戦することが大切であるという話は、たくさんの場面で聞くとお思います。そうはいっ
ても「失敗を恐れずに挑戦する」ことには、難しさを感じる人も多いことでしょう。各方面
の調査でも、日本人の傾向として、失敗への恐怖心からリスク回避しがちであるという結果
を目にします。

最近、教育の世界で注目されている考え方で「アントレプレナーシップ教育」という
ものがあります。アントレプレナーとは会社などを起こす人のことですが、この教育で目指
しているのは、実際に会社を起業する人をただ増やすということではありません。「自分の
やりたいことを見つけ、失敗しても工夫して何度も挑戦する」という「心の在り方」を育成
することが目的として謳われています。昨今の正解の見えない世の中で生きていくために、
この教育が注目されていることは必然かもしれません。

学校生活の中には、小さな挑戦の場面がたくさんあります。授業や部活動での発言や
行動、日々の人間関係での友人に対する言葉や行動。「こんなふうにしてみよう」という小
さな挑戦は、常に失敗の可能性と隣り合わせです。“うまくいかないかもしれない” “恥
をかかかもしれない” “それでもやってみる” そんな自分の意思で一歩前に踏み出せること
は、人の成長の中でとても尊いことだとお思います。

学校は「正解を教わる場所」ではなく、「たくさん失敗して、工夫して、再挑戦できる
場所」であってほしい。そのためにも、先生と生徒で「間違えてもいい雰囲気」「間違えた
人をさげすむのではなく、その挑戦を称える気持ちで次につくる雰囲気」を作れること
が理想であるとお考えます。そして、西本郷中学校が、皆にとってたくさんの挑戦をす
るチャンスと失敗をするチャンスがあり、実際に失敗したときに、ちょっと悔しいけど笑っ
て再挑戦できる場所になっていくことを心から願っています。